



あいち通信 第六十二号

日本会議 愛知県本部
〒464-0836 TEL:052-763-4678 FAX:052-763-4588
愛知県名古屋千種区菊坂町3-5-302 E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

第十三回 もうひとつの戦争展 開催



去る八月十五日から十八日、名古屋国際センターにおいて第十三回もうひとつの戦争展が開催された。今回は「朝鮮半島に蝕まれる日本」をテーマにパネル展示。終戦後に発生した朝鮮人暴動やその結果得た多くの権利、また先述の仏像盗難やセウォル号事件など韓国人のモラル欠如等について詳しく解説している。同じ展示室内では協賛団体より明治維新から大東亜戦争にかけての帝国陸海軍の軍服や使用された小銃のレプリカ展示もあり観て楽しめる内容となっている。期間中の十六日には、衆議院議員 次世代の党の中山成彬先生と杉田水脈みお先生を講師としてお招きし「いわゆる従軍慰安婦の真実」と題して、講演およびトークセッションが行われた。予定の八十席が二百二十名余となり、立ち見が出るほどの盛況ぶりであった。十七日には現役の高校歴史教師である黒田裕樹先生より「日本と韓国のほんとうの歴史」と題して講演いただき、これも大盛況で用意した座席では足りず、時間を経過する毎に座席を追加する対応に追われた。



「もうひとつの戦争展」は同時期に左翼系団体によって開催される「平和のための戦争展」に比べると認知度はまだまだこれからという感がある。実行委員会ではこの戦争の真実を伝え我が国の誇りを取り戻すまで継続していく所存であり、これからも皆様の更なるご支援を賜りたい次第である。

※展示パネル集を一冊五百円(送料別)にてお分けいたします。「希望の方は、電話〇五二・七六三・四六七八 ファックス〇五二・七六三・四五八八へお知らせ下さい。」(文責・日本会議名古屋北支部 片岡 亨)

富士総合火力演習 見学報告

八月二十四日(日) 十時〜十二時 演習前段(後段)
十二時〜十三時 音楽隊演奏等 十三時〜十四時 装備車輛・回転翼機等展示
参加者三名/六時東富士演習場到着。スタンド席最上段を確保することができた。演習内容は前段一時間は、主要装備品の紹介となっており、誘導弾を含む各種兵器類の実弾展示射撃が行われた。



後段一時間は、島嶼部に対する攻撃への対応として、哨戒・索敵、発見、空対艦攻撃、上陸部隊に対する空対地攻撃を想定し、P3C対潜哨戒機、F2支援戦闘機が参加した。上陸を許した敵に対し、ヘリによって前線へ展開する歩兵部隊に随伴したAH-1H・AH-64攻撃ヘリが対地攻撃を行い援護する。その後、戦車を始めとする重火砲群が火力制圧を行うというシミュレーションであった。最後は歩兵が刈り取るという陸隊の常識が欠落していたように思うが、最近物忘れが激しくよく覚えていない。或いは重複を避ける為、省略したか? 総括すると、多少なりとも軍事に通じた者にとっては戦術・部隊運用について特に学ぶ事はない内容である。但し、兵器の性能・部隊の練度は世界有数の実力とされている。我々一般人は比較対象となる他国軍の演習を観る機会はずくない。しかし、我が自衛隊が極めて優秀であることは専門家も口を揃えて評していることでありそう確信する。元々富士総合火力演習は自衛隊内の学生に見学させる為を実施されていたと元幹部自衛官から聞いた。しかし今は自衛隊の武威を一般に示す国民の行事へ特化したと云ってよい。あのような演習場のごく限られた狭小なスペースで実戦的な演習実施は不可能である。何時の世でも何処の国でも精強なる軍隊の存在は国民の愛国心をより強固にする。此の処理は本演習を観覧した誰もが理屈抜きで実感できることであろう。ところで或るメディアで指摘されて気付いた事柄であるが、総合火力演習では国旗の掲揚がなく、国歌斉唱も行われていない。非公開の訓練、演習ならばそれでもよいと考える。ただし、演習とは実戦を想定したものでなければならぬ。従って国歌斉唱、国旗掲揚の必要はない。大東亜戦争中、旧海軍では最前線部隊に於いては畏まった礼式は省略することしばしばであったと聞く。しかし今は平時であり、しかも一般国民に解放された行事なのである。来年度より改められることを強く希望する。(文責・日本会議 愛知県本部 名古屋東支部長 江崎雅博)



報告・名古屋中支部第二回定例会開催

●開催日時 八月二十三日(土) 十五時〜十七時 ●会場 株式会社フケイ会議室

●議題 【一】美しい日本の憲法をつくる一千万署名 服部 県事務局長 【二】新規会員 年間目標四十名 上方修正 【三】他支部の活動状況 名古屋東支部 加藤貞之事務局長 ①政経勉強会 ②街宣活動 ③他支部と合同支部会議開催 【四】参加者討議 日本会議が取り組む国民運動テーマ/皇室御慶事の奉祝事業を官民一体となって推進/日本の伝統に基づく「新憲法」制定へ向け、国民世論を喚起/「自主憲法制定」「尖閣を守る」国民署名/愛国心、道徳心、伝統文化を大切に「教育基本法」全面改正/「国旗国歌法」を制定 【五】その他 会議後、懇親会開催/山ちゃん/次回支部会議 九月二十日(土) 十五時〜十七時 名古屋中支部は楽しく為になる活動をもっと! として頑張ります。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

(文責・日本会議 愛知県本部 名古屋中支部長 八尾弘)

報告・名古屋東支部第十二回勉強会、街宣実施!

●開催日時 八月三十日 午後二時〜四時 ●場所 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 四名 ●自主憲法制定をテーマにした街宣と共に憲法改正を実現する署名活動を行いました。様々な反応がありましたが、多くの方へ向けにお訴えさせて頂くことがで

き有意義な時間となりました。■次回開催■九月二十八日(日)／十月二十六日(日)時刻・場所は八月と同じ■☆名古屋東支部では自主憲法制定に関して街宣活動にて訴えて欲しい内容を募集しております。メール

(yakeashi@katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽にご連絡の程宜しくお願い致します☆(文責・日本会議愛知県本部名古屋東支部 事務局 加藤貴之)

追悼 久保憲一先生

去る八月二十日、敬愛してやまなかった久保憲一先生が天に還られた。久保先生との思い出は尽きない。平成八年から御教導いただき、今年四月に松坂市の山中にある水屋神社に療養中を訪ねたのが、今生のお別れとなった。

久保先生は鈴鹿国際大学教授在任中、三重県人権センターの偏向を指摘したことに、部落開放同盟がこれに反発。大学側はこれに屈して、教授解任という不当処分を下す事件が起った。平成十二年のことである。私どもはささやかながらも、久保先生の支援運動に取り組んだ。一審勝訴、二審敗訴となり最高裁に持ち込んで逆転勝訴となる。

私は敗訴した名古屋高裁を久保先生と二人で傍聴した。その時の裁判長の言葉が聞き取りにくく、内容がさっぱりわからないまま帰ったのだうた。後刻、弁護士より結果を知らされ愕然とした。久保先生も相当落胆されていたが、直ちに上告の準備に入られた。平成十九年の最高裁勝訴の感激は今も忘れられない。この判例は、いはゆる久保事件として後世に語られるものとなったのである。

また、裁判闘争中にあつても久保先

生は勇躍としてさまざまな活動を展開された。岐阜県春日村の名産「さざれ石」を台湾やパラオに奉納されたり、フランスのブルゴーニュに神社を建立されたりした。私もそのお手伝いをさせていただき、ともに現地へ赴いたことも貴重な体験となつた。

久保先生は学者としては不遇であつた。特に不当処分以後は寂しい思いをされていたと拝察する。しかし、周りには優しく愛を与えられた。来る者拒まずで、風変わりな友人もあつた。一方、神の声を聞き続けられる求道の人でもあつた。境内に六角堂を建て瞑想する日々を送られていた。屈託のない笑い声と、孤独の瞑想が重なる。齢六十四はあまりにも早すぎる。もう少しお役に立ちたかつた。久保先生、これからは天界よりお導き下さい。

(文責・日本会議愛知県本部 事務局 服部守孝)

事務局日誌(八月) 服部守孝

一日(金)H.B.101でお馴染みの株式会社フローラ川瀬善業社長よりお招きを受け、社内親睦会へ。川瀬社長は熱烈の愛国者である。二十年にわたり支援いただいている。二日(土)知多地区会員懇談会。十名の参加者があり、憲法改正に向けた国民運動について提起した。来る十月十一日に日本会議知多支部発会が決定し、支部長には鈴木直人氏(武豊町)が推挙された。

三日(日)第五十九回愛知県護国神社清掃奉仕。小牧市議の矢田員将典先生が初参加。午後から、モンゴル自由連盟党ホルホド・ダイチンさんの講演会に参加。中国から苛烈極まる弾圧を受けている南モンゴルの現状が語られた。夜は愛知竹田研究会幹事会。六日(水)日本会議調布支部副支

部長の松木國俊先生による「日韓併合時代の真実」と題した講演会に参加。松木先生は、豊田通商株式会社社勤務時代にソウル駐在の経験があり、日韓問題に精通。関連の著書も数冊ある。二十年前に名古屋支店にも勤務され、それ以来交流させていただいている。九日(土)戦争展準備作業を金山神社事務所にて。名古屋テレビの取材を受ける。十五日のニュース番組で放映予定となった。

十四日(木)愛知県護国神社境内に日本会議ブース用の特設テントを設営。八名の会員が小雨の合間を縫って二張を建てた。明日の準備はほぼ完了した。十五日(金)大東亜戦争終結の日。午前中は愛知県護国神社にて、参拝者に憲法改正署名の呼びかけと冷茶サービスを行った。本年は神社のお許しをいただき、正午の黙禱に続く、玉音放送拝聴の際、終戦の詔書をプリントして配布した。午後一時より第十三回もうひとつの戦争展の初日オープン。

十六日(土)戦争展二日目。特別企画の中山成彬先生、杉田水脈先生(共に衆議院議員、次世代の党)による「いはゆる従軍慰安婦の真実」と題した講演会は、二百二十名余の参加者で盛況となった。十七日(日)戦争展三日目。大阪の高校現役教師黒田裕樹先生による「夏休みの課外授業」(日本と韓国のはんこの歴史)を開催。この企画も盛況となり、百名余の参加者があった。

十八日(月)戦争展最終日。四日間の会期中の来場者は五百名を超えた。朝日新聞による従軍慰安婦の訂正記事が直前に掲載されるなどして、今回の主題「朝鮮半島に蝕まれる日本」は、時機を得た企画となった。二十一日(金)久保憲一先生(水屋神社宮司)の葬儀の儀に参列。

斎場には神社関係者他有縁の人々がお別れにいられていた。出棺の時に激しい雷雨となり、ある方はかみなりは神成りだと言われた。久保先生は神に成られたのだと。二十三日(土)フタバ造園株式会社の名倉輝光会長よりお招きを受け、創立三十五周年祝賀会。会場のキャッツホールには各界名士の方々六百名余で満席。名倉さんは東京出身。名古屋で単身事業を開始され、一代で今日を築かれた。大変な御苦労もされたが、全てに感謝する心「ありがとう人生」を歩んで来られた方である。

二十七日(水)日本会議東海ブロック代表者大会に向けた第一回実行委員会。愛知県本部がホスト県となつて来る十一月三十日に三百名規模で開催することになった。三十一日(日)第二回瀬戸・尾張旭地区会員懇談会。支部設立の具体案が活発に出され、地元企業や議員にも協力を依頼することになった。夜は久しぶりに家族で夕餉を共にした。

行事予定

- 西春日井支部定例会 (日本の息吹懇談会) 十月九日(木)18時半〜20時半 西春駅前公会堂
- 知多支部 発会式 十月十一日(土)13時半〜15時半 東海市市民活動センター

■瀬戸・尾張旭地区日本の息吹懇談会 十月十三日(月・祝)18時〜20時 パルティー瀬戸

新規入会者ご紹介 (平成二十六年七月)

- ご入会ありがとうございました。
- 櫻井梅仁(正会員)
- 小林洋亮(正会員)
- 間瀬友浩(正会員)
- 石田知早人(正会員)
- 村松佳典(正会員)
- 後藤美智夫(支援会員)
- 浜中芳夫(支援会員)
- 種別順入会日順 敬称略



愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 10月5日(日)午前8時開始、9時終了予定。
- 引き続き11月2日(日)午前8時より実施予定。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。★9月7日は、15名の方にご参加いただきました。また、2名の方に初参加していただきました。



(8月3日奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。